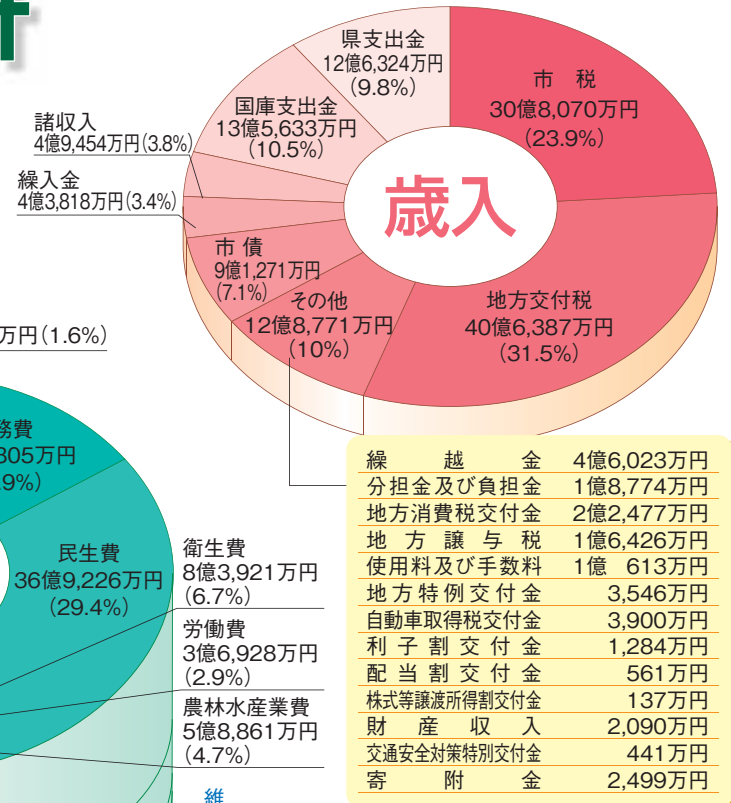


# 平成23年度の決算状況

市では年2回、市の財政状況を公表しています。今回は、平成23年度の一般会計・特別会計の決算状況をお知らせします。

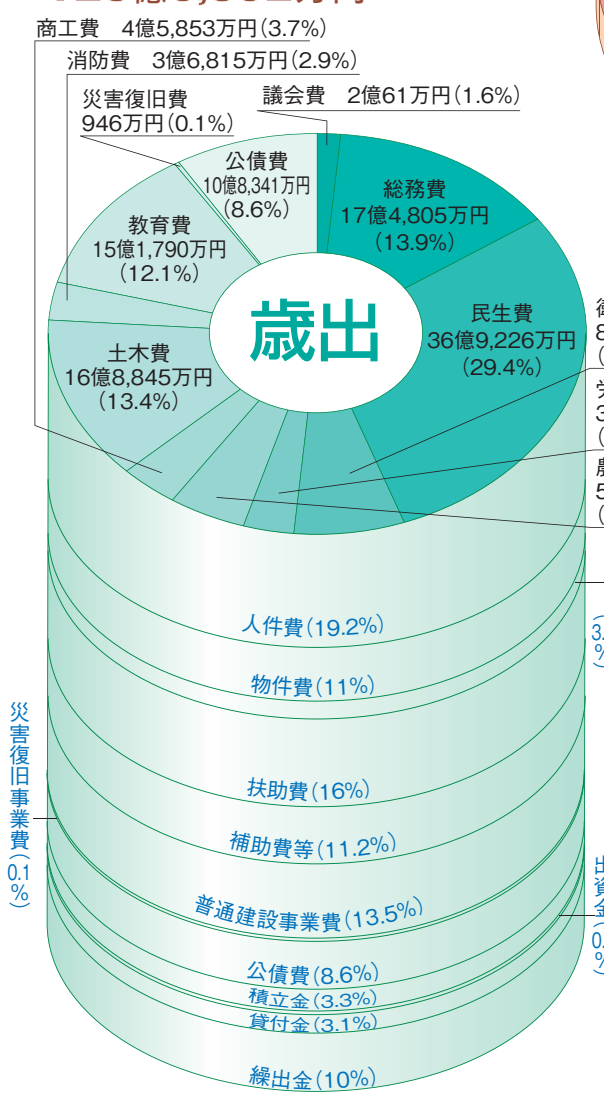
### 歳入総額 128億9,728万円



繰入金	4億6,023万円
分担金及び負担金	1億8,774万円
地方消費税交付金	2億2,477万円
地方譲与税	1億6,426万円
使用料及び手数料	1億613万円
地方特例交付金	3,546万円
自動車取得税交付金	3,900万円
利子割交付金	1,284万円
配当割交付金	561万円
株式等譲渡所得割交付金	137万円
財産収入	2,090万円
交通安全対策特別交付金	441万円
寄附金	2,499万円

# 一般会計

### 歳出総額 125億6,392万円



**歳入**  
市税は、柱である個人市民税、固定資産税がほぼ前年度並みとなりました。その他の市税では、たばこ税が平成22年10月からの増税の影響により増額となりましたが、法人市民税が減額となったため、総額では前年度とほぼ同額の30億8,070万円となりました。自主財源は48億1,341万円、自主財源比率は37.3% (3.9%の増) となりました。

地方交付税は、特別交付税が前年度と同様に大雪の影響により増額となりましたが、普通交付税が、その算定に用いられる国勢調査人口の減少に伴う影響などにより減額となり、総額で40億6,387万円 (1.2%の減) となりました。

**歳出**  
議会費では、平成23年6月に地方議会議員年金制度が廃止されたことに伴う給付費負担金の増額などにより、総額2億61万円 (36.6%の増) となりました。

民生費では、私立保育園の改築および耐震補強工事に係る補助金や、障害者自立支援法移行による給付の増額により、総額36億9,226万円 (7.1%の増) となりました。

衛生費では、子宮頸がん・Hib・小児肺炎球菌ワクチンの予防接種の拡充や、エコ環境都市の実現に向け各種環境関連事業に積極的に取り組んだ結果、総額8億3,921万円 (8.0%の増) となりました。

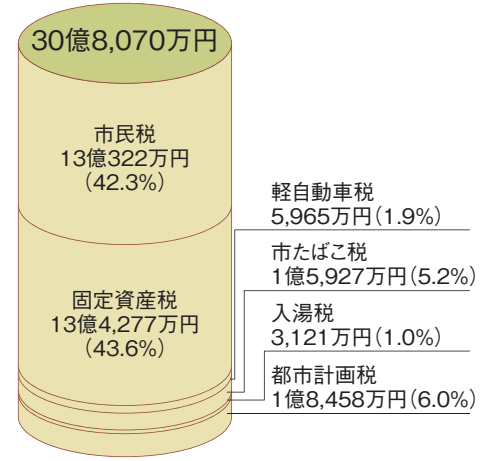
農林水産業費では、ネット柵設置の推進により鳥獣対策経費が増額となったものの、森林整備地域活動支援事業費の減額などにより、総額5億8,861万円 (13.9%の減) となりました。

教育費では、新体育館建設事業の着手や、平泉寺小学校および荒土小学校体育館の耐震補強工事等を行いました。前年度に実施した勝山南部中学校校舎の耐震補強工事等の完了により、総額15億1,790万円 (4.5%の減) となりました。

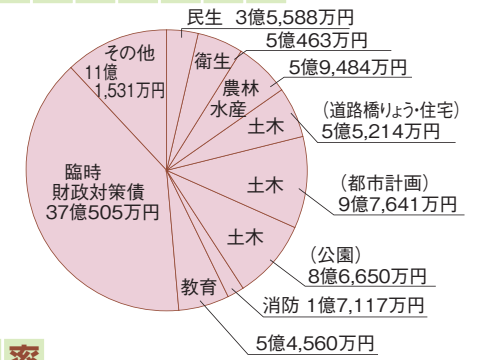
平成23年度末の財政調整基金残高は、前年度に交付され一旦財政調整基金に積み立てた発電所所在市町に対する地域振興交付金 (2億1,100万円) を、北谷地区活性化および各地区の特色ある地域づくり基金へ移し替えるために取り崩したことが影響し、14億9,306万円 (13.0%の減) となりました。

災害復旧事業費(0.1%)

### 市税の収入状況



### 一般会計 合計93億8,753万円 目的別市債残高



### 財政健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
勝山市(速報値)	—	—	10.7	72.6
早期健全化基準	14.08	19.08	25.0	350.0
県内9市平均(速報値)	—	—	11.4	75.5

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」に基づき、上記指標を算定しました。この指標は、地方公共団体の「早期健全化」と「財政再生」の2段階で財政悪化状況をチェックするとともに、特別会計や一部事務組合等も併せた連結決算により、地方公共団体全体の財政状況を明らかにしようとするものです。

勝山市はいずれの項目においても、早期健全化基準を大きく下回り、健全であるといえます。(詳しくは、市のホームページをご覧ください)

# 特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差し引き
育英資金	3,548万円	3,066万円	482万円
下水道事業	15億3,266万円	15億2,815万円	451万円
農業集落排水事業	2億3,131万円	2億3,033万円	98万円
簡易水道事業	2億3,910万円	2億3,910万円	0万円
国民健康保険	27億9,614万円	26億3,994万円	1億5,620万円
後期高齢者医療	3億1,269万円	3億1,249万円	20万円
介護保険(保険事業勘定)	25億7,081万円	25億7,070万円	11万円
介護保険(介護サービス事業勘定)	1,178万円	1,178万円	0万円
市有林造成事業	3,803万円	3,786万円	17万円

### 市有財産の状況

(平成24年3月31日現在)

建物	14万8,810㎡
土地	2,247万2,102㎡
立木	23万204㎡
基金	
現金・預金等	25億3,081万円
うち財政調整基金	14億9,306万円
うちその他の基金	10億3,775万円
土地	2,951㎡
有価証券	3億1,400万円
出資金	3億8,250万円
債権	1億8,411万円

### 市債残高の状況

一般会計	93億8,753万円
特別会計	
下水道事業	57億4,468万円
簡易水道事業	1億4,851万円
農業集落排水事業	15億9,487万円
市有林造成事業	4,542万円
合計	169億2,101万円

### 指標でみる財政事情

	経常収支比率	財政力指数
23年度 勝山市(速報値)	98.7%	0.45
23年度 県内9市平均(速報値)	90.7%	0.65
22年度 勝山市	93.7%	0.47
22年度 県内9市平均	88.5%	0.68
22年度 全国平均	88.2%	0.67

**※用語解説**  
**【経常収支比率】** 財政構造の弾力性(余裕)をあらわしたものです。毎年経常的に収入される財源のうち、人件費・扶助費・公債費など、必ず支払う経費の割合。  
 1か月の家計に例えると、食費や家賃、光熱費、水道代、ローン返済など毎月決まって支払わなければならない経費の合計が、給料総額に対してどの程度占めるかをあらわしたものです。  
**【財政力指数】** 地方公共団体の財政力をあらわしたものです。  
 一般の家庭に例えると、子どもが別居している場合、標準的な生活費(家賃や食費など)に対する標準的な収入(給料など)の割合です。なお、標準的な生活費と標準的な収入の差額で不足が生じると親からの仕送り(普通交付税)が必要となります。  
**【標準財政規模】** 地方公共団体が自由に使える財源の標準的な収入。  
**【実質赤字比率】** 一般会計等の実質赤字が標準財政規模に占める割合。  
 サラリーマン家庭に例えると、一年間の収入と支出の差引において赤字が生じた場合、赤字額が

その年の家庭の給料総額に対してどの程度占めるかをあらわしたものです。  
**【連結実質赤字比率】** 一般会計(一般会計等)だけでなく、その他の特別会計(含む)の実質赤字が標準財政規模に占める割合。  
**【実質公債費比率】** 一般会計等が負担する市債等の償還金が標準財政規模に占める割合。  
 別居している子どもを持つ家庭に例えると、親のローンのほか子どものローンを親が肩代わりして返済している場合、その返済金の合計が、親の給料総額に対してどの程度占めるかをあらわしたものです。  
**【将来負担比率】** 一般会計等が将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合。  
 別居している子どもを持つ家庭に例えると、親のローンの残高、子どものローンの残高(親が肩代わりして返済する額)、家族の将来の冠婚葬祭などに係る経費の総額から、それに充てることができる財源(貯金など)を差し引いた額が、その年の給料総額に対してどの程度占めるかをあらわしたものです。